平成 19 年 5 月 30 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　　久
（コード番号　2531　東証、大証　第 1 部）
問 合 せ 先　取締役 IR 室長　　松崎　修一郎
T　E　L　（０７５）２４１－５１２４

当社子会社（タカラバイオ株式会社）の「特別利益の発生及び平成 20 年3月期単体業績予想の修正に関するお知らせ」について

当社子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号 4974 東証マザーズ）が、本日「特別利益の発生及び平成 20 年3月期単体業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この影響により当社の連結業績においても特別利益が発生いたしますが、平成 20 年 3 月期の連結業績予想に関しましては、変更ございません。

（添付）タカラバイオ株式会社の開示資料

以　上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

（添付資料）

平成 19 年５月 30 日

各　　位

会社名	タカラバイオ株式会社 （コード番号 4974　東証マザーズ）
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目４番１号
代表者	代表取締役社長　　加 藤　郁之進
問合せ先	常務取締役　　木 村　　睦
ＴＥＬ	（０７７）５４３-７２１２
ＵＲＬ	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長　　大 宮　　久 （コード番号 2531 東証、大証第１部）

特別利益の発生及び平成 20 年３月期単体業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日、当社の持分法適用会社である ViroMed Co., Ltd.（KOSDAQ 上場）の株式の一部を売却し、これに伴って下記のとおり投資有価証券売却益（特別利益）を平成 20 年３月期第１四半期決算に計上いたします。

また、当該特別利益の計上により、平成 20 年３月期（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）通期及び中間期の単体業績予想（平成 19 年５月 15 日公表、以下、前回公表）のうち、当期純利益について下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、連結の業績予想は修正いたしません。

記

１．投資有価証券売却益（特別利益）の内容

(1) 売却銘柄	ViroMed Co., Ltd.
(2) 売却株数	766,708 株（発行済株式総数の 7.8%）
(3) 売却額	1,010 百万円
(4) 売却益	連結　650 百万円（概算） 単体　815 百万円
(5) 売却後所有株数	2,000,000 株（所有比率 20.4%）

２．平成 20 年３月期　単体業績予想の修正（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）

(1) 通期（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）　（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	13,700	△453	△138	11
今回修正予想（B）	13,700	△453	△138	826
増減額（B－A）	－	－	－	815
増減率（%）	－	－	－	－
前期実績（平成 19 年３月期）	14,524	△297	149	290

（添付資料）

(2) 中間期（平成 19 年４月１日～平成 19 年９月 30 日）　（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	6,263	△447	△254	△277
今回修正予想（B）	6,263	△447	△254	538
増減額（B－A）	－	－	－	815
増減率（%）	－	－	－	－
前期実績（平成 18 年９月期）	6,893	△517	△304	△69

（注）業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

３．修正の理由

当社単体の当期純利益につき、投資有価証券売却による特別利益発生額相当額を、前回公表の予想数値に加算するものであります。

なお、今回の投資有価証券売却により、当社連結決算においても特別利益約 650 百万円が発生いたしますが、一方で、本日公表の「米国子会社クロンテック社とインビトロジェン社との変異体逆転写酵素に関する特許侵害訴訟の和解について」でお知らせいたしましたとおり、インビトロジェン社との和解に伴う和解金・製品廃棄等の費用を、クロンテック社単体及び当社連結の特別損失として平成 20 年３月期第１四半期決算に計上（金額は確定しておりませんが、概算で約 11 億円と見込んでおります。）することになりましたので、税効果会計適用後の当期純利益への影響を考慮し、連結業績予想における当期純利益は修正いたしません。

また、和解に伴う当社連結及び単体の売上高、営業利益、経常利益への影響は軽微でありますので、前回公表予想数値の修正はいたしません。

以　上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。